

2026年12月期（第127期）

第2四半期（中間期）決算説明資料

2026年8月5日



新日本電工株式会社

東証プライム市場
証券コード5563

2026年上期実績

- 実力ベース経常利益 : **45億円**(対前年23億円増益)
国内事業については概ね順調
- 経常利益（会計ベース） : **△29億円**(対前年41億円減益)
パータマフェロアロイズ社に対する投資損失**72億円**計上

2026年見通し

- 実力ベース経常利益 : **75億円**(対前年22億円増益、対通期予想15億円増益)
- 経常利益（会計ベース） : **15億円**(対前年12億円減益、対通期予想55億円減益
: 上記投資損失計上等の影響)

株主還元

- 2026年：年間配当金**17円**(中間5.5円+期末11.5円)の見込み(対前年5円増配)

次期中期経営計画について

- 各事業を取り巻く環境が大きく変化
→ 2030年あるべき姿に向け、2027年開始の新しい中期経営計画を策定(**年内公表予定**)

INDEX

1

事業概要

2

2026年12月期 上期連結業績

3

2026年12月期 連結業績見通し

4

株主還元

5

中期経営計画の進捗

6

APPENDIX

INDEX

1

事業概要

2

2026年12月期 上期連結業績

3

2026年12月期 連結業績見通し

4

株主還元

5

中期経営計画の進捗

6

APPENDIX

1-1. 事業概要

事業概要

祖業の合金鉄事業で培った電気炉・冶金技術をベースに
素材と環境の分野で社会課題の解決に寄与する多くの事業を展開しています。

素 材

合金鉄事業

拠点：徳島工場

- マンガン系合金鉄の**国内トップサプライヤー**
国際的競争力に優れ、高品質の合金鉄
を安定供給

主な製品 高炭素フェロマンガ、SLPフェロマンガ

主な用途 鉄鋼材料の強度、靱性などの特性付与のための添加剤
鋼製造時の脱硫・脱酸用



高炭素フェロマンガ

機能材料事業

拠点：徳島工場・妙高工場・富山工場（射水地区・高岡地区）

- **国内オンリーワン商品**など、唯一無二の独自製品
を複数ラインナップ
- デジタル化、カーボンニュートラル社会を支える
先端部品向けに素材提供

主な製品 酸化ジルコニウム、酸化ほう素
フェロボロン、水素吸蔵合金
マンガン系無機化学品、リチウムイオン電池正極材

主な用途 セラミックコンデンサ、ディスプレイ用ガラス基板
ネオジム磁石、HV用ニッケル水素電池負極材、
電子部品用添加剤、EV用リチウムイオン電池正極材など



酸化ほう素

環 境

焼却灰資源化事業

拠点：鹿島工場

- 焼却灰を**資源化**し、**循環型社会**に貢献
 - ・埋立処分場を延命
 - ・都市鉱山の開拓（溶融メタル）
 - ・スラグ（エコラロック®）は土木資材として資源化

主なサービス・製品 焼却灰の回収・処理
溶融メタル
エコラロック®（土木建設資材）

主な用途 工業用 貴金属・非鉄製品
路盤材等の建設資材



溶融メタル

エコラロック

アクアソリューション事業

拠点：郡山工場

- イオン交換樹脂による
排水浄化装置と**純水製造装置**
- 委託再生方式のビジネスモデル

主な製品 排水処理装置
純水製造装置

主な用途 工業排水浄化
水素ステーション用等
純水製造

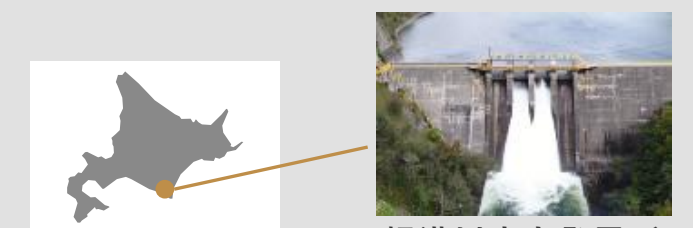


純水製造装置

電力事業

拠点：日高事業所

- FITを利用した安定的な売電
- **グリーン電力**
- **民間最大規模ダム**※
※電力会社を除く



幌満川水力発電所

INDEX

1

事業概要

2

2026年12月期 上期連結業績

3

2026年12月期 連結業績見通し

4

株主還元

5

中期経営計画の進捗

6

APPENDIX

2-1. 2026年 上期連結業績

26年上期業績

- 実力ベース経常利益※は、合金鉄市況が当初想定よりも上昇基調で推移したことや円安の影響に加え焼却灰処理量増加及び溶融メタル市況の高位安定により対前年倍増の**45億円**
- 会計ベース経常利益は、パータマフェロアロイズ社への投資損失の計上(一過性要因、7-8ページ参照)により41億円減益の**△29億円**

(単位：億円)

	2025年上期	2026年上期	前年同期比
売上高	381	388	+7
営業利益	20	53	+33
経常利益	12	△29	▼41
在庫影響等	△10	△2	+8
パータマフェロアロイズ社への投資損失	-	△72	▼72
実力ベース経常利益※	22	45	+23
親会社株主に帰属する 中間純利益	5	△27	▼32
為替(円/USドル)	149	159	

※ 在庫影響や一過性要因を除いた経常利益：原料価格は在庫影響により半年～1年程度遅れて発現するため、会計ベースの期間損益に歪みを生む原因となるこの歪みを修正するため、原料価格を時価に置きなおして算出したものが「実力ベース経常利益」合わせて、通常の営業活動とは直接関係のない突発的・例外的な一過性要因も除外して算出を行う

詳細はP24参照

2-2. パータマフェロアロイズ社への投資損失の計上（1）

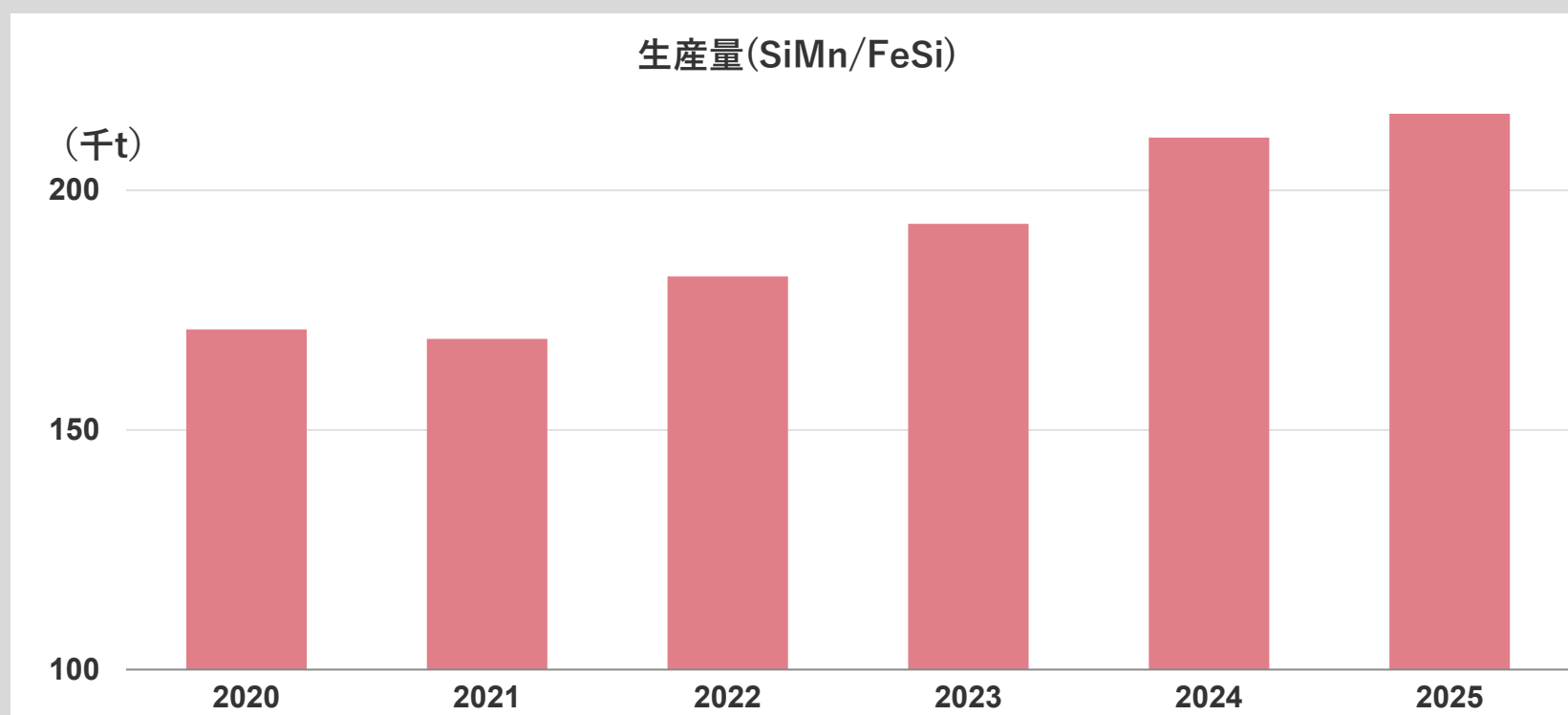
26年上期業績

出資経緯

- 2012年にマレーシア・サラワク州における水力発電所からの安価かつグリーン電力による合金鉄をアジア市場向けに製造・販売することを目的としてパータマフェロアロイズ社に出資(出資比率25%)

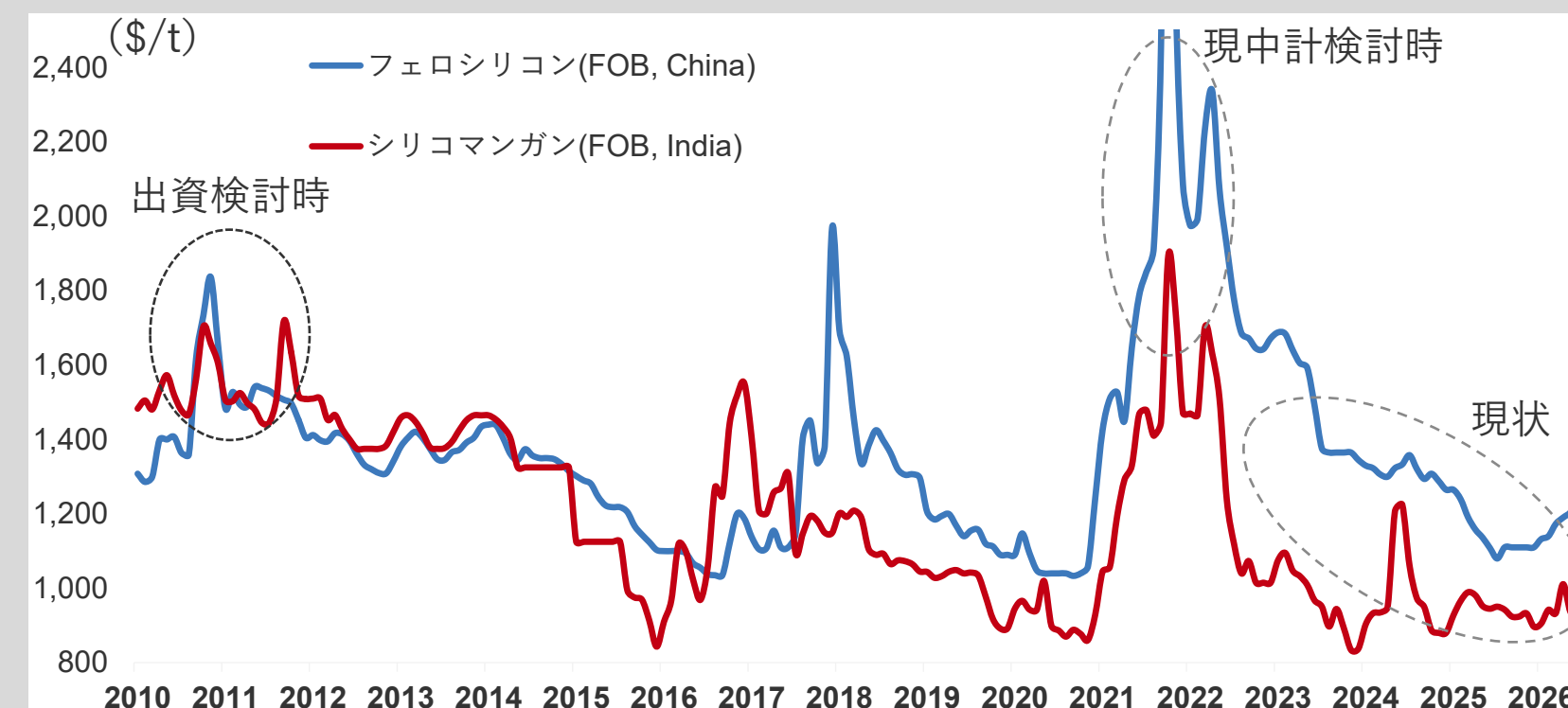
当社の取り組み

- 当社技術者の現地での操業指導により、コロナ禍以降高位安定生産を実現



外部環境

- インド・中国・ロシアからの供給拡大によりアジアでの製品市況が低迷

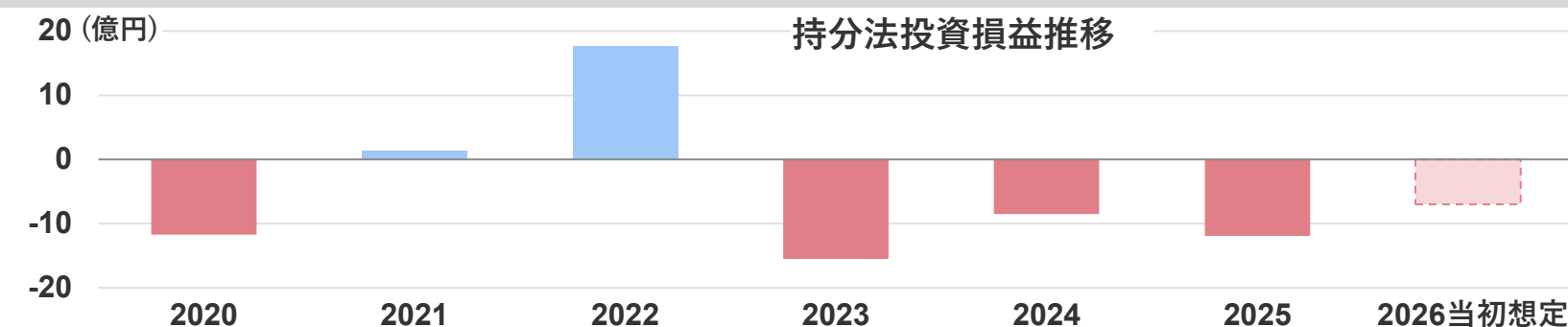


2-3. パータマフェロアロイズ社への投資損失の計上（2）

26年上期業績

収益状況

- 23年以降3期連続赤字計上、26年も赤字見通し
- 製品市況低迷は継続する見通し
- 現時点で将来の黒字化を見込むことは困難



不採算事業についての見直しを行い
経営資源の最適配分を加速(選択と集中)

第2四半期に同事業への投資損失72億円を計上
今後は株式譲渡による完全撤退を検討

評価

- 同社に対する追加リスクの完全排除
- 当該損失処理により下期以降は損益改善が見込まれる
⇒ 来期以降の連結損益は年間10億円程度改善の見通し
- 連結損益の改善により、株主還元が拡大する見通し

一過性要因であるため実力ベース
経常利益への影響はない
加えて、キャッシュフローにも影
響を与えない

INDEX

1

事業概要

2

2026年12月期 上期連結業績

3

2026年12月期 連結業績見通し

4

株主還元

5

中期経営計画の進捗

6

APPENDIX

事業環境

歴史的円安の継続

EV市場成長鈍化・電池材料低迷

EUにおける合金鉄に関するセーフガード発動により欧州フェロマンガン市況は安定推移

中東情勢の影響(当社には限定的)

取り組み

積極的な収益改善

- ・各事業において、価格改善やコスト削減を実施

不採算事業見直し

- ・パータマフェロアロイズ社への投資損失計上により、下期以降損益を改善見込み

焼却灰資源化需要拡大

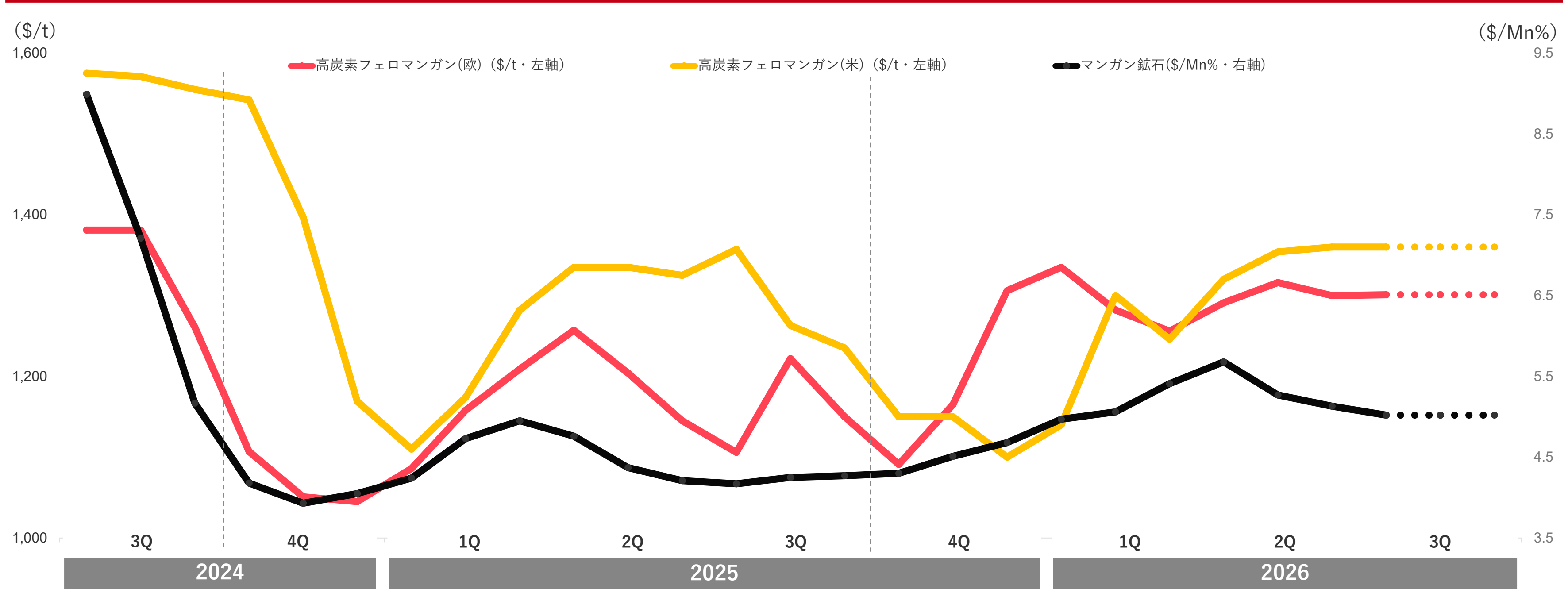
- ・5号炉、6号炉建設工事に着手
- ・西日本地区における収集量拡大に向け、九州地区に営業所設置

3-2. 高炭素フェロマンガング・マンガン鉱石市況動向

2026年見通し

- 欧州におけるセーフガード措置の継続を背景に、欧州フェロマンガング市況は安定推移
- 最大消費国である中国の需要減少などにより、マンガン鉱石市況は緩やかな下落傾向
- 2026年期初よりマージンは改善し、結果として対前年同水準で推移

高炭素フェロマンガング（製品）・マンガン鉱石市況（原料）



※出典：高炭素フェロマンガング（Fastmarkets、METALS WEEK）マンガン鉱石（Fastmarkets）
※収益に影響する各種市況は、概ね前四半期の市況が反映されています

3-3. 2026年 連結業績見通し

2026年見通し

- 実力ベース経常利益：75億円(対前期22億円増益)
2Q以降での合金鉄製品市況安定及び円安効果、焼却灰処理量増加及び溶融メタル市況の高位安定
- 会計ベース経常利益：15億円(対前期12億円減益)
パータマフェロアロイズ社への投資損失の計上(72億円、一過性要因)により減益見通し
- 当期純利益は黒字確保

	(単位：億円)			
	2025年	(5/12公表) 2026年	前期比	
売上高	773	800	811	+38
営業利益	52	-	110	+58
経常利益	27	70	15	▼12
在庫影響等	△26	+10	+12	+38
パータマフェロアロイズ社への投資損失	-	-	△72	▼72
実力ベース経常利益※1	53	60	75	+22
親会社株主に帰属する当期純利益	14	-	5	▼9
実力ベース純利益※2	37	42	53	+16
為替(円/USドル)	150	155	157	

※1 在庫影響や一過性要因を除いた経常利益 ※2 実力ベース経常利益 x 0.7 (1-(法人税等))

3-4. 2026年 連結業績見通し（事業別：実力ベース※）

2026年見通し

- 合金鉄(国内)：収益改善や円安効果により増益
- 機能材料：電池材料需要の低迷により減益（一部の受託製造販売が本年3月に終了）
- 焼却灰資源化：焼却灰処理量増加、溶融メタル市況の高位安定により増益

（単位：億円）

		2025年		2026年見通し		前期比	
		売上高	実力ベース※ 経常利益	売上高	実力ベース※ 経常利益	売上高	実力ベース※ 経常利益
合金鉄		484	2	511	19	+27	+17
	国内	484	12	511	23	+27	+11
	海外	-	△10	-	△4	-	+6
機能材料		148	22	136	15	▼12	▼7
焼却灰資源化		89	21	118	35	+29	+14
アクアソリューション		17	1	18	1	+1	0
電力		14	4	13	3	▼1	▼1
その他		21	3	16	3	▼5	0
合計		773	53	811	75	+38	+22

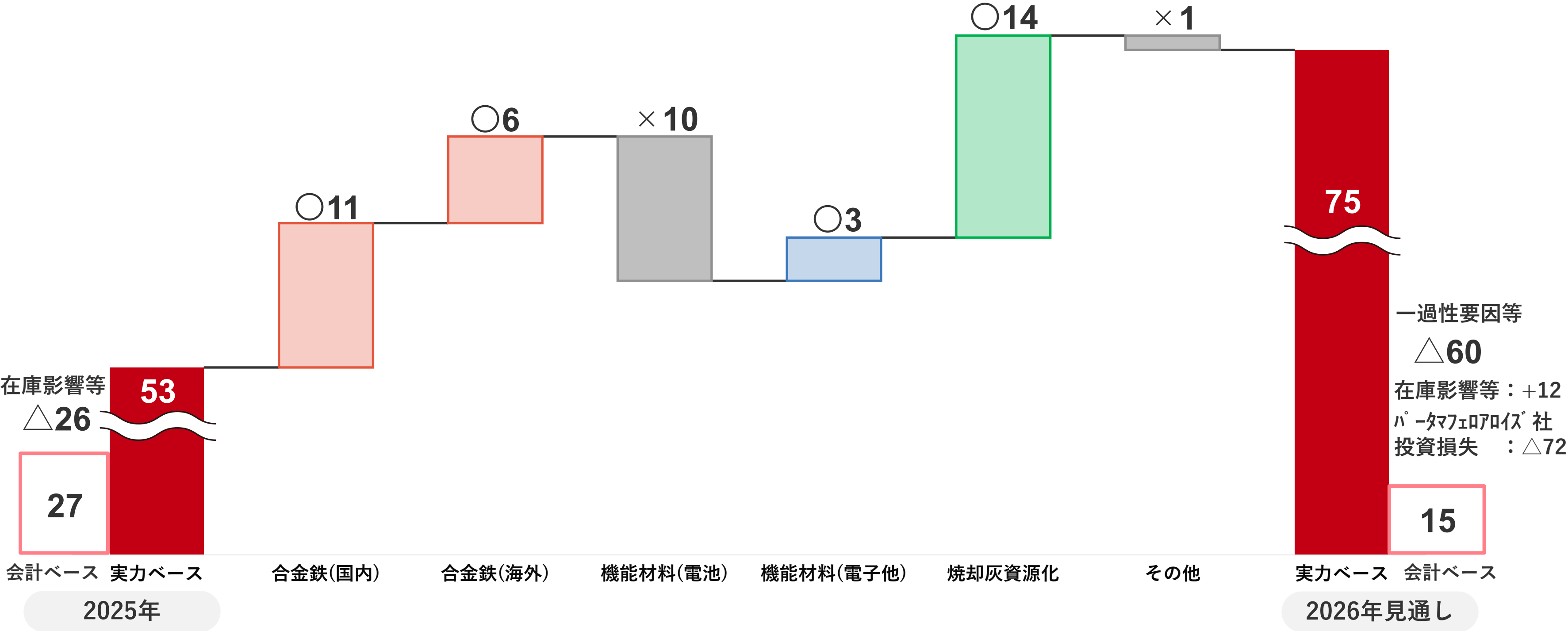
※ 在庫影響や一過性要因を除いた経常利益

3-5. 2026年 連結業績見通し（実力ベース損益分析）

2026年見通し

■ 実力ベース経常利益増減分析

（単位：億円）

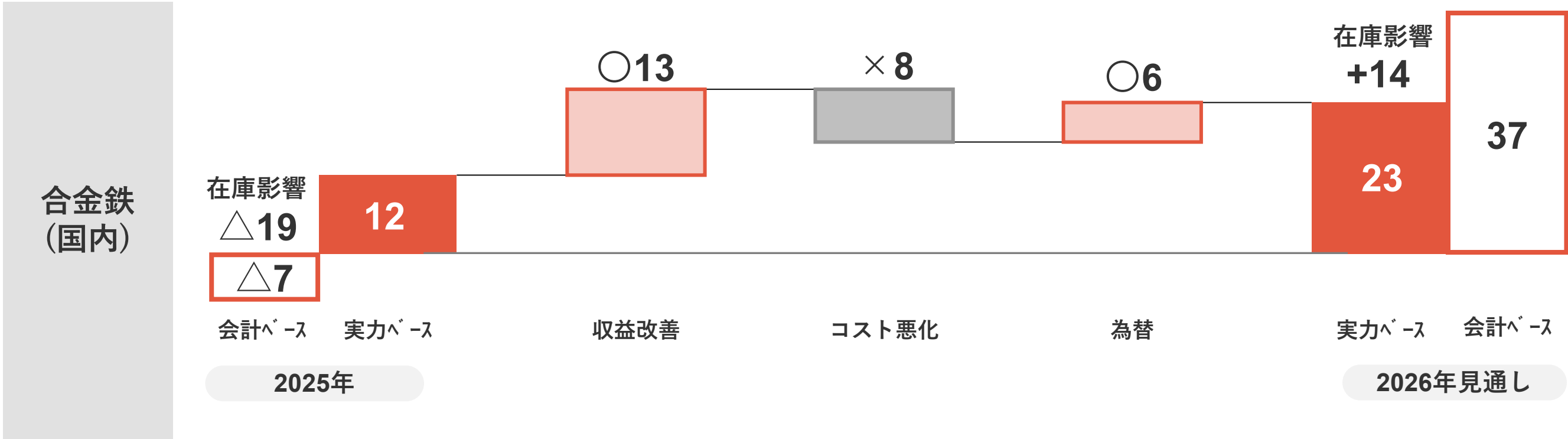


3-6. 2026年 事業別 連結業績見通し（実力ベース損益分析）

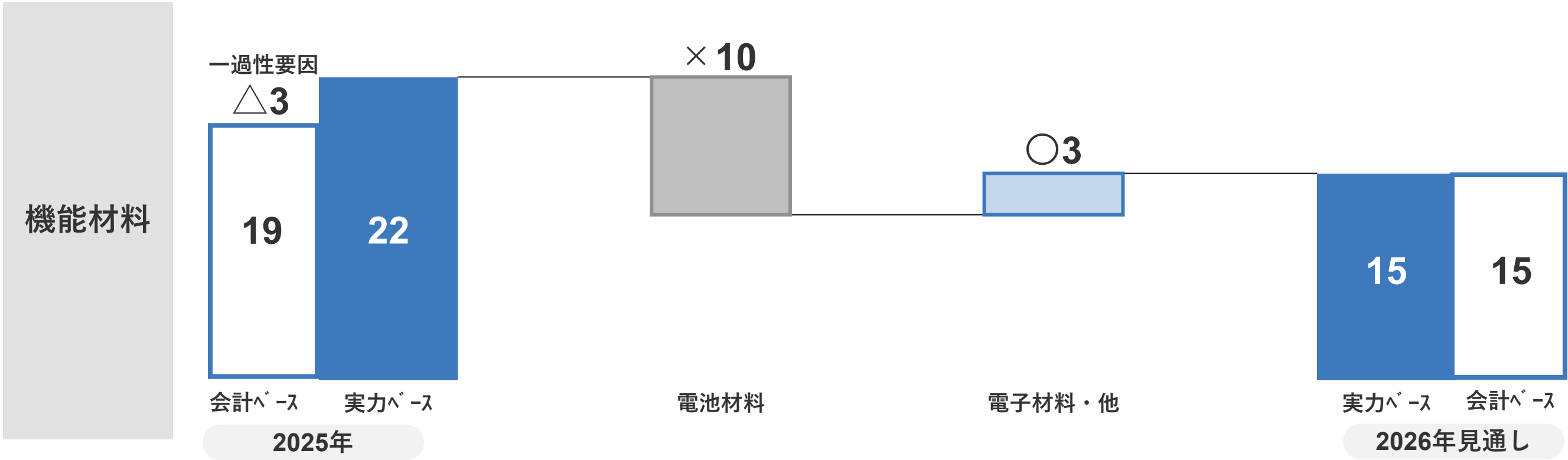
2026年見通し

■ 実力ベース経常利益増減分析

（単位：億円）



■ 収益改善及び円安効果により増益

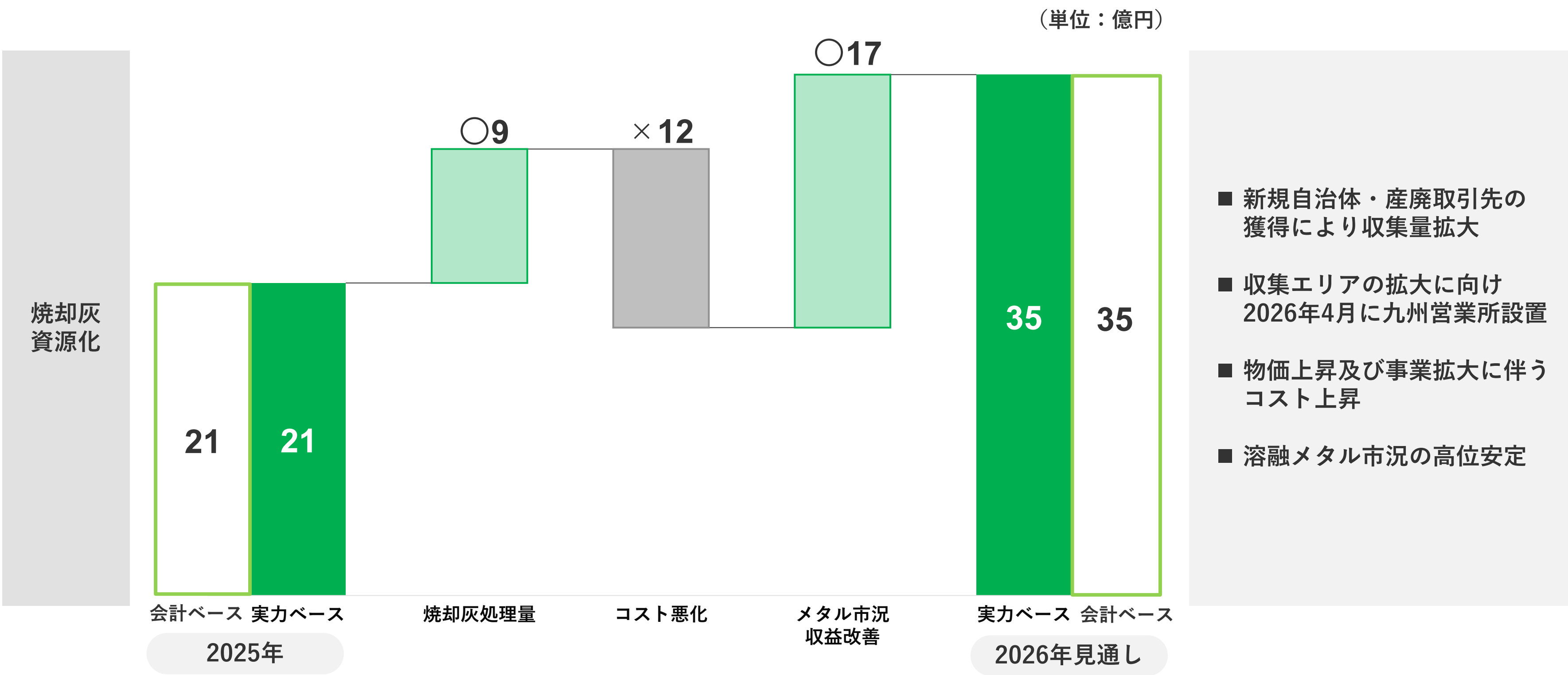


- 電池材料関連は、リチウムイオン電池正極材のOEM契約一部終了、水素吸蔵合金の需要減少に伴い販売数量減
- 電子部品関連は、AIデータセンター市場の成長を背景に販売は堅調に推移

3-7. 2026年 事業別 連結業績見通し（実力ベース損益分析）

2026年見通し

■ 実力ベース経常利益増減分析



■ 連結貸借対照表

- ・ 棚卸資産の在庫圧縮による回転期間の短縮化に加えて、成長分野への積極的な戦略投資による固定資産の増強により固定比率が増加。

(単位：億円)	2025年	2026年
流動資産合計	444	436
（うち現預金）	60	55
（うち棚卸資産）	261	246
固定資産合計	490	514
（うち有形・無形合計）	281	371
資産合計	934	950
負債合計	224	250
（うち有利子負債）	138	132
純資産合計	710	700
負債純資産合計	934	950
ネットD／Eレシオ	0.11	0.11
棚卸資産回転期間（カ月）	5.6	4.9
固定比率（％）	69.0	73.4

■ 連結キャッシュ・フロー

- ・ 焼却灰資源化事業の成長投資実施により投資CF拡大
- ・ 経常利益(パータマ社投資損失除く)の大幅増益により配当原資となるフリー・キャッシュ・フローを確保

(単位：億円)	2025年	2026年
営業キャッシュ・フロー	146	144
（うち経常利益[投資損失除]	27	87
（うち減価償却費）	27	40
（うち運転資本増減）	63	4
投資キャッシュ・フロー	△56	△103
フリーキャッシュ・フロー（FCF）	90	41
財務キャッシュ・フロー	△89	△41
（うち有利子負債増減）	△31	△22
（うち配当金）	△16	△19
（うち自己株式取得）	△40	0
現金及び現金同等物の期末残高	60	60

INDEX

1

事業概要

2

2026年12月期 上期連結業績

3

2026年12月期 連結業績見通し

4

株主還元

5

中期経営計画の進捗

6

APPENDIX

4-1. 株主還元方針・配当見通し

- 成長戦略の推進により、安定的かつ積極的な株主還元を実現
- 2026年の実力ベース経常利益は**75億円**の見通し → 実力ベース純利益は**53億円**
→ 年間配当金**1株当たり17円**(対前年5円増配、対期初予想4円増配)の見込み

配当方針

- 実力ベース純利益*基準
- 配当性向：**40%** 程度
- 配当下限：**11円**

*実力ベース純利益 = 実力ベース経常利益 × (1 - (法人税等))
75億円 **70%** = **53億円**

【狙い】

実力ベース純利益を基準とすることで安定配当を実現

配当見通し

	2025年	2026年
年間配当金(円/株) (期初予想)	12	17 (13)
内、記念配当(円/株)	1	-
配当総額(億円)	16	21
自己株式取得額(億円)	40	-
配当性向：実力ベース純利益(%)	42	40
配当性向：純利益(%)	112	424

自己株式取得

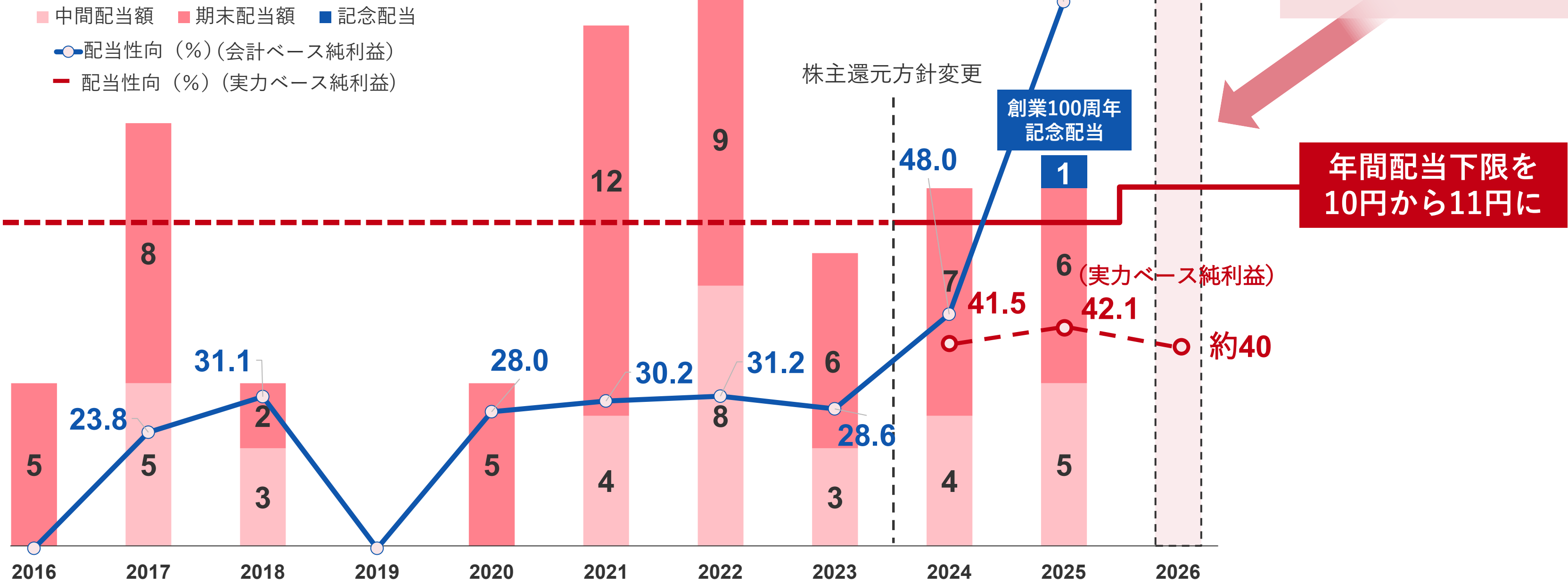
配当を補完する位置づけとして、機動的に実施

2025年に約40億円(13百万株)の自己株式取得
うち**12百万株を8月21日に消却予定**

4-2. 株主還元：配当の推移

配当の推移

- 2024年に株主還元方針変更
- 配当性向(実力ベース)：40%水準を継続
- 平均配当金額：13.3円(2024年～2026年)
- (参考) 2016年～2023年の平均配当金額：8.8円



INDEX

1

事業概要

2

2026年12月期 上期連結業績

3

2026年12月期 連結業績見通し

4

株主還元

5

中期経営計画の進捗

6

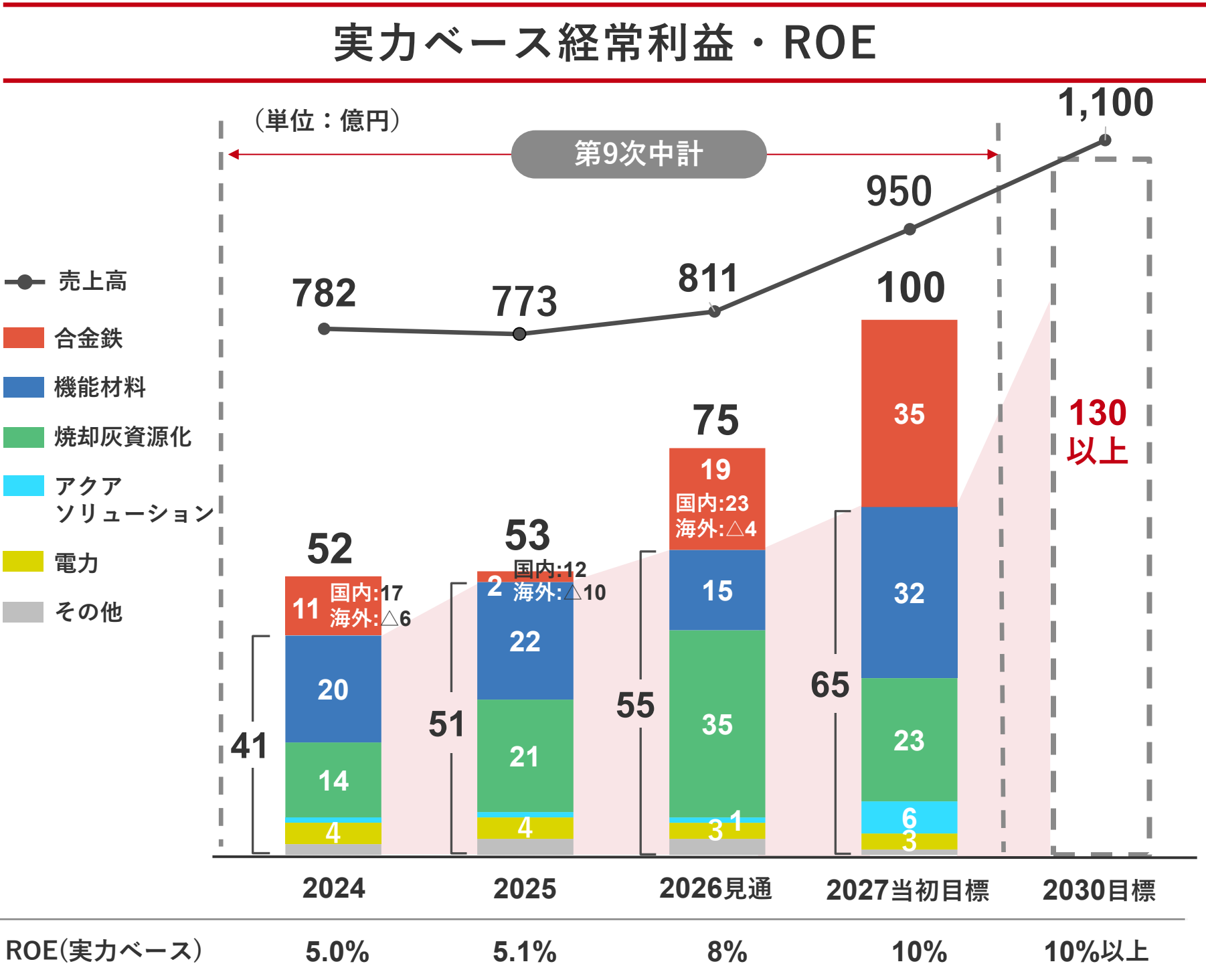
APPENDIX

5-1. 第9次中期経営計画の進捗

中計進捗

- 2027年の目標実力ベース経常利益100億円に対し
2026年見通しで**75億円**
- 海外合金鉄を除くと**実質80億円**まで到達

各事業を取り巻く環境は当初想定から大きく変化。
2030年に向けた新たな中期経営計画の検討に着手。
(1年前倒しで策定、年内発表予定)



合金鉄（国内）

- 欧州セーフガードの継続によりフェロマンガン市況は当面安定化が想定される
- 一方、国内粗鋼生産は当初想定を上回るペースで減少

合金鉄（海外）

- パータマ社への投資は事業拡大から撤退へ方針変更
- 成長分野への新たな投資検討

機能材料

- 地政学リスクの高まりより国内オンリーワン製品の需要は拡大基調(電子材料、フェロボロン等)
- 一方、電池材料はEV需要の減速と競争激化により低迷(一部OEMは本年3月に終了)

焼却灰資源化

- 溶融メタル市況の好調もあり、想定以上の成長を実現
※能力増強（5・6号炉）のための投資意思決定済<2025.11>
- 社会課題である焼却灰埋立処分場延命に資する取り組みとして、西日本地域においても期待拡大

INDEX

1

事業概要

2

2026年12月期 上期連結業績

3

2026年12月期 連結業績見通し

4

株主還元

5

中期経営計画の進捗

6

APPENDIX

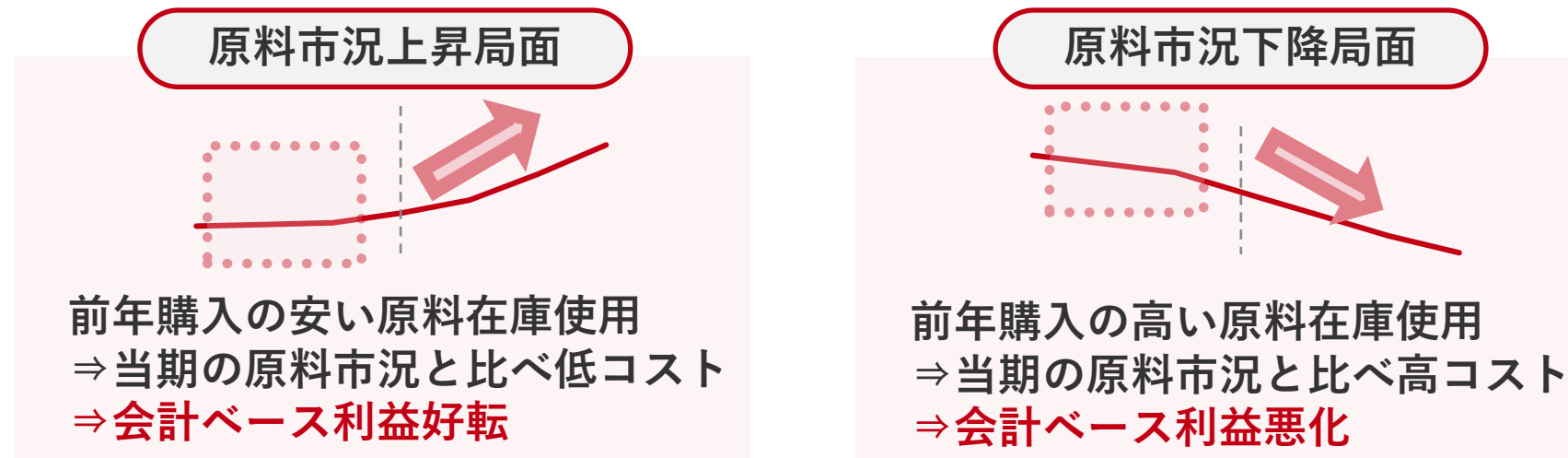
6-1. 実力ベース経常利益の考え方

APPENDIX

- **本来の稼ぐ力**を把握する為、在庫影響や一過性要因を除く**実力ベース経常利益**を導入
- 株主還元や従業員賞与の基準としても採用

実力ベース経常利益の算定について

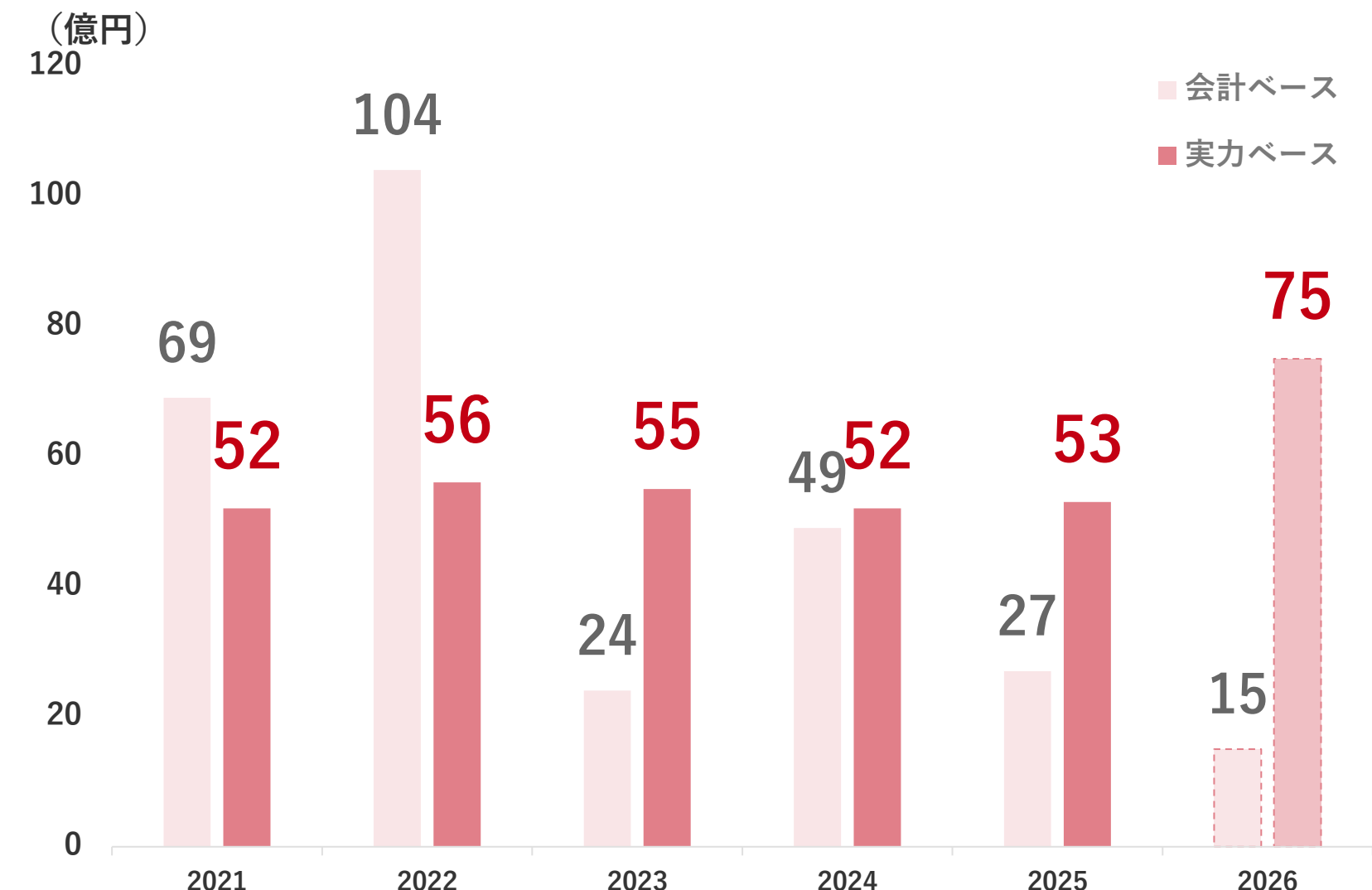
- ①在庫影響を排除し期間損益の歪みを解消
- ・実力ベース経常利益に使用する原料価格は製品市況に連動する期間の原料市況を使用
(会計ベースの原料価格は在庫影響により半年～1年程度遅れて発現)



- ②通常の営業活動とは直接関係性のない突発的・例外的な要因による一過性要因を排除
- 今期はパータマフェロアロイズ社への投資損失が該当
- その他例：災害に伴う損失、事業再編関連費用
収益性の低下に伴う評価損、為替差損益

全社経常利益推移

- ・在庫影響や一過性要因を排除することにより損益のボラティリティは大幅に低減
- ・安定した業績に基づく安定配当が可能に



6-2. 2026年12月期 上期連結業績

(単位：億円)

	2025年			2026年			前期比		
	1Q	2Q	上期	1Q	2Q	上期	1Q	2Q	上期
売上高	194	187	381	194	194	388	0	+6	+7
経常利益	4	8	12	11	△40	△29	+7	▼48	▼41
在庫影響等	△1	△9	△10	△5	+7	+2	▼4	+16	+8
持分法による投資損失(パータマ)	0	0	0	0	△72	△72	0	▼72	▼72
実力ベース経常利益※	5	17	22	16	29	45	+11	+12	+23
親会社株主に帰属する中間純利益	0	4	5	6	△33	△27	+5	△37	△32
為替 (円／USドル)	153	145	149	157	160	159	-	-	-

※ 在庫影響や一過性要因を除いた利益

6-3. 2026年12月期 事業別 上期連結業績（実力ベース※）

（単位：億円）

		2025年						2026年						前期比					
		売上高			実力ベース経常利益			売上高			実力ベース経常利益			売上高			実力ベース経常利益		
		1Q	2Q	上期	1Q	2Q	上期	1Q	2Q	上期	1Q	2Q	上期	1Q	2Q	上期	1Q	2Q	上期
合金鉄		133	112	245	△2	4	2	123	114	237	1	11	12	▼10	+1	▼8	+3	+7	+10
	国内	133	112	245	1	3	4	123	114	237	5	11	16	▼10	+1	▼8	+4	+8	+12
	海外	-	-	-	△3	1	△2	-	-	-	△4	0	△4	-	-	-	▼1	▼1	▼2
機能材料		34	39	73	5	5	10	35	32	67	7	2	9	+1	▼7	▼6	+2	▼3	▼1
焼却灰資源化		18	20	39	3	3	6	27	34	61	9	13	22	+9	+13	+22	+6	+10	+16
アクアソリューション		4	4	8	0	0	0	4	4	8	0	0	0	0	▼0	▼0	0	0	0
電力		2	5	7	△1	3	2	1	4	6	△1	2	1	▼0	▼1	▼1	0	▼1	▼1
その他		3	6	9	0	1	1	3	6	9	0	1	1	0	0	0	0	0	0
合計		194	187	381	5	17	22	194	194	388	16	29	45	0	+6	+7	+11	+12	+23

※ 在庫影響や一過性要因を除いた利益

6-4. 2026年12月期 連結業績見通し

(単位：億円)

	2025年			2026年見通し			前期比		
	上期	下期	通期	上期実績	下期	通期	上期	下期	通期
売上高	381	392	773	388	423	811	+7	+31	+38
経常利益	12	15	27	△29	44	15	▼41	+29	▼12
在庫影響等	△10	△16	△26	+2	+14	+16	+8	+30	+42
持分法による投資損失(パータマ)	0	0	0	△72	0	△72	▼72	0	▼72
実力ベース経常利益※	22	31	53	45	30	75	+23	▼1	+22
親会社株主に帰属する純利益	5	9	14	△27	32	5	▼32	+22	▼9
実力ベース純利益※2	15	22	37	32	21	53	+16	▼1	+16
為替 (円／USドル)	149	151	150	159	155	157	-	-	-

※1 在庫影響や一過性要因を除いた利益
※2 実力ベース経常利益 x 0.7 (法人税等)

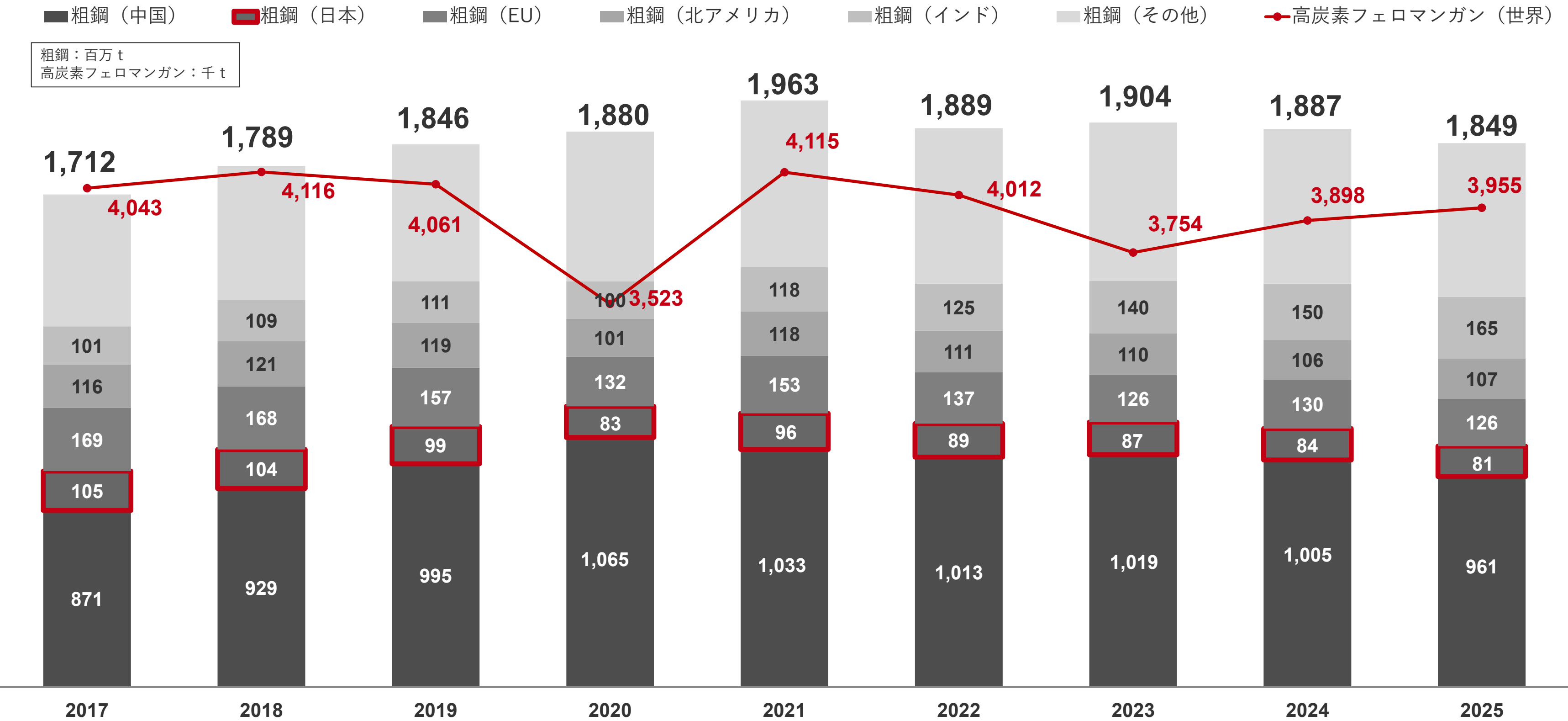
6-5. 2026年12月期 事業別 連結業績見通し（実力ベース※）

（単位：億円）

		2025年						2026年見通し						前期比					
		売上高			実力ベース経常利益			売上高			実力ベース経常利益			売上高			実力ベース経常利益		
		上期	下期	通期	上期	下期	通期	上期	下期	通期	上期	下期	通期	上期	下期	通期	上期	下期	通期
合金鉄		245	239	484	2	0	2	237	274	511	12	7	19	▼8	+35	+27	+10	+7	+17
	国内	245	239	484	4	8	12	237	274	511	16	7	23	▼8	+35	+27	+12	▼1	+11
	海外	-	-	-	△2	△8	△10	-	-	-	△4	0	△4	-	-	-	▼2	+8	+6
機能材料		73	75	148	10	12	22	67	69	136	9	6	15	▼6	▼6	▼12	▼1	▼6	▼7
焼却灰資源化		39	50	89	6	15	21	61	57	118	22	13	35	+22	+7	+29	+16	▼2	+14
アクアソリューション		8	8	17	0	1	1	8	10	18	0	1	1	▼0	+2	+1	0	0	0
電力		7	7	14	2	2	4	6	7	13	1	2	3	▼1	0	▼1	▼1	0	▼1
その他		9	12	21	1	2	3	9	7	16	1	2	3	0	▼5	▼5	0	0	0
合計		381	392	773	22	31	53	388	423	811	45	30	75	+7	+31	+38	+23	▼1	+22

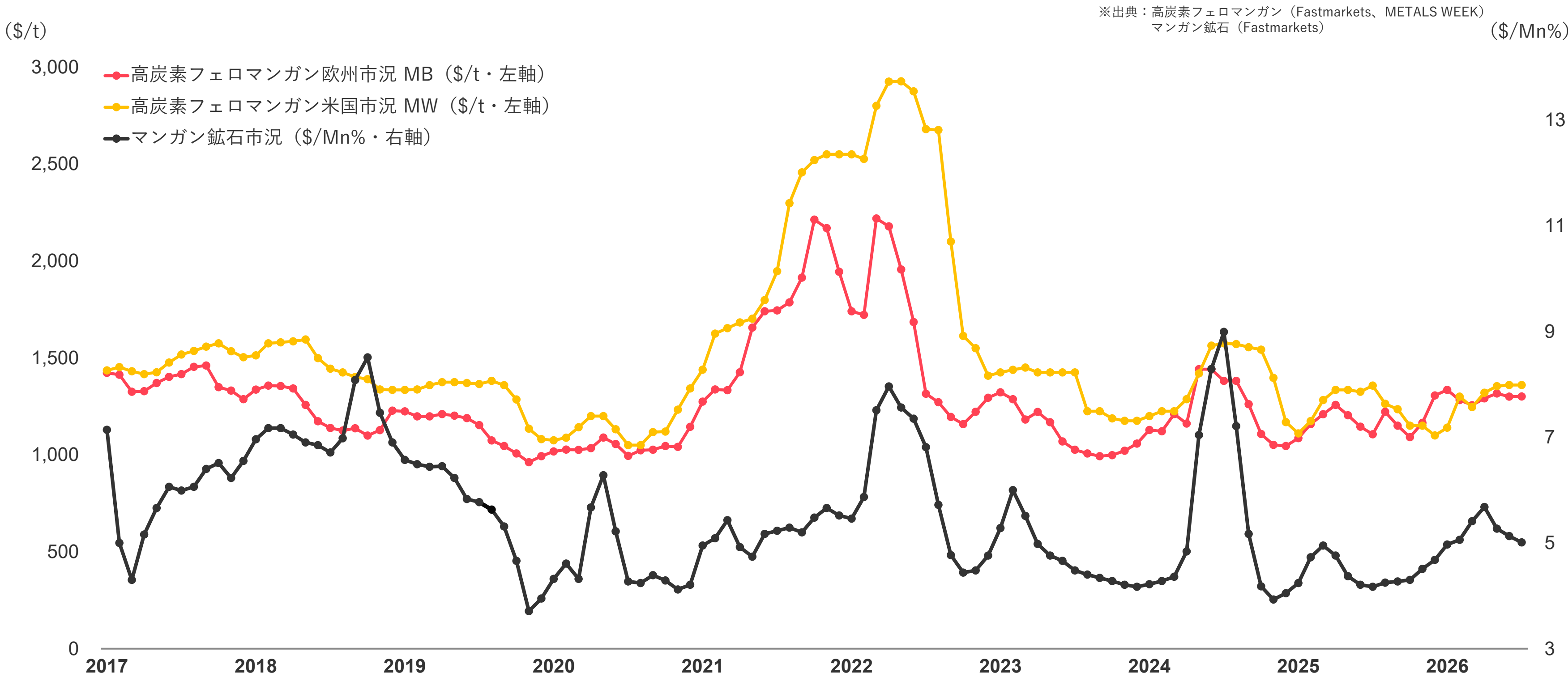
※ 在庫影響や一過性要因を除いた利益

6-6. 粗鋼・高炭素フェロマンガンの生産量



6-7. 高炭素フェロマンガング・マンガン鉱石市況動向

市況推移



6-8. 経営指標推移

	(百万円)							
	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025
売上高	73,944	70,477	54,004	65,978	79,341	78,390	78,235	77,277
実力ベース経常利益※（億円）	-	-	-	52	56	55	52	53
在庫影響等（億円）	-	-	-	+17	+48	△31	△3	△26
経常利益	1,947	△ 6,426	3,063	6,870	10,367	2,420	4,859	2,703
親会社株主に帰属する当期純利益	2,352	△ 14,240	2,615	7,768	7,949	4,330	3,144	1,418
設備投資額	7,356	6,902	3,205	3,716	5,555	3,826	3,851	4,086
減価償却費	1,721	2,437	1,824	2,124	2,463	2,945	3,245	3,665
研究開発費	452	423	345	353	559	631	588	683
総資産（期末）	99,786	85,224	86,171	95,888	104,943	100,750	102,200	93,414
自己資本比率（期末）（%）	69.2	63.6	65.4	67.0	65.9	70.9	72.1	76.0
ネットDEレシオ	0.06	0.20	0.17	0.12	0.18	0.15	0.15	0.11
固定比率（%）	58.1	65.6	67.8	66.0	69.4	68.8	65.5	69.0
棚卸資産回転期間（カ月）	5.3	4.8	6.4	5.3	5.4	5.8	6.1	5.6
1株当たり配当額（円）	5.00	0	5.00	16.00	17.00	9.00	11.00	12
ROE（自己資本利益率）（%）	3.4	△ 23.1	4.7	12.9	11.9	6.2	4.3	2.0
実力ベースROE（%）	-	-	-	6.0	5.9	5.5	5.0	5.1
期中最高株価（円）	528	249	320	410	459	394	331	368
期中最低株価（円）	193	148	108	263	272	259	225	228

※ 在庫影響や一過性要因を除いた経常利益

株主・投資家コミュニケーション

事業への取り組みや収益状況、成長戦略等についての
情報発信を強化

個人投資家向け情報発信

野村IR合同個人投資家セミナー：2025年より
日経IRフェア：2026年8月参加予定

既存株主向け理解促進活動

工場見学会：2025年11月に鹿島工場で開催
2026年も実施予定

機関投資家向け情報発信

決算説明会：中間及び本決算
個別面談(1月～6月)：26回（2025年：11回）
シアードリサーチ社による、当社レポートのWeb掲載

統合報告書

当社に対する理解をより深めていただくため、
2023年から毎年発刊

メディア露出

左記活動の結果、成長著しい焼却灰資源化事業を
中心に、様々な媒体に取り上げられる

テレビ東京

「知られざるガリバー」出演
(2026年4月4日)



TBSラジオ

「見事なお仕事」出演
(2025年7月7日)



新聞・書籍等

毎日新聞・茨城新聞・月刊事業構想 等

その他、様々な媒体への露出予定あり

波及効果

IR情報発信

第三者レポート

<https://sharedresearch.jp/ja/companies/5563>



シェアードリサーチ社による
当社の調査レポート（無料）

Research Coverage 

メール配信サービス

<https://www.nippondenko.co.jp/ir/mailnews/>



e-mail

当社の適時開示情報を
メールでお届けします

統合報告書（冊子）

https://www.ecohotline.com/products/detail.php?product_id=3975



説明会動画・文字起し

（決算）

<https://www.nippondenko.co.jp/ir/library/presentation/>



（個人投資家様向け）

https://www.nippondenko.co.jp/ir/individual_investors/



<https://finance.logmi.jp/companies/2565>

お問い合わせ先



新日本電工株式会社

お問い合わせ先：新日本電工株式会社 総務部 広報IR課

TEL

03-6860-6800

ホームページ

<https://www.nippondenko.co.jp>

《免責事項》

本資料は情報提供を目的にしており、弊社株式の購入や売却などを勧誘するものではありません。また、本資料に記載された業績見通し等に関する記述は、現時点で得られた情報に基づき作成されたものであり、その情報の正確性を保証するものではなく、様々な不確定要素を含んでおり、実際の業績は予想と異なる可能性があります。本資料利用の結果生じたいかなる損害につきましても、弊社は一切責任を負うものではありません。